

令和2年度

事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

学校法人 志學館学園

目 次

I 建学の精神	P.1
II みおしえ	P.1
III 志學館学園の概要	P.2～10
1. 各学校の基本理念等	P.2～3
(1) 志學館大学	P.2
(2) 鹿児島女子短期大学	P.2
(3) 志學館高等部・中等部	P.3
(4) 鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園	P.3
(5) なでしこ保育園	P.3
2. 志學館学園の沿革	P.4～5
3. 志學館学園の組織	P.6
4. 各学校等の所在地	P.6
5. 志學館学園の役員	P.7
6. 各学校の状況	P.8～10
(1) 令和2年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数	P.8
(2) 令和3年度 入学定員・入学者数	P.9
(3) 令和2年度 教職員数	P.10
IV 令和2年度 学校法人志學館学園 事業報告	P.11～27
1. 令和2年度短期事業計画の進捗状況	P.11
2. 令和2年度短期事業計画の具体的な取組内容	P.12～16
(1) 志學館大学	P.12
(2) 鹿児島女子短期大学	P.12～13
(3) 志學館高等部・中等部	P.13～14
(4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園	P.14
(5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園	P.14
(6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園	P.15
(7) なでしこ保育園	P.15
(8) 学園本部	P.16
(9) 6か年施設設備投資計画事業執行状況	P.16
3. 令和2年度設置校別事業計画達成度評価	P.17～27

V 財務の概要	P.28～37
1. 令和2年度決算の概要	P.28～29
① 事業活動収支計算書関係	P.30
② 資金収支計算書関係	P.31～32
③ 貸借対照表関係	P.33
2. その他	P.34
3. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分	P.35
4. 学校法人会計及び用語について（解説）	P.36
5. 監査報告書	P.37

I 建学の精神

「時代に即応した堅実にして有為な人間の育成」

- 「時代に即応した」とは、情勢の変化に対応して、合理的で効果的、かつ弾力的な運用を図るべきことを意味する。
- 「堅実にして」とは、人間としての教養・徳をつけること、つまり人間としての豊かさ等を意味していると解釈する。
- 「有為な人間」とは、豊かな人間性の上に、健康な体、強い意志、創造力と企画力、集団への適応と貢献の能力、科学や情報に対する理解と技術、国際人としての教養等を身につけ、国家・社会の発展に寄与しうる人間、即ち「実用」と「教養」を実現できる総合力を身につけた人間をさすものである。

II みおしえ

雪のごとく清らかに

月のごとく明らけく

花のごとく撫子の強くやさしく

創設者満田ユイは、「建学の精神」を具体的に実践する時の心構えとして親しみやすく理解するようにと、中国の詩人、白居易の詩を引用し、それになぞらえて「みおしえ」とした。根底に「人間愛」を含んだ上で、詩にある「雪、月、花」になぞらえて、雪は「清浄と貞節」を、月は「聡明な明るさと静寂」を、花は「大和撫子を現し、日本女性の美德とやさしさと芯の強さを現すもの」として説明した。

しかし、1986年「建学の精神」の改訂を機に、今ではその女性的な文体表現にかかわらず「清く、明るく、強く、やさしく」というその内容が人間としての在り方、人の美しい生き方を表すものとして脈々と学園に継承されている。

現在「雪、月、花」は「建学の精神」を具体的に実践する時の心根を象徴するものとして、学園章・校章・学園旗及び校旗となっている。

Ⅲ 志學館学園の概要

1. 各学校の基本理念等

(1) 志學館大学

【使命】

教養と実践的な専門の学芸を体系的に教授研究し、科学的・論理的思考法、現代社会に必要な技能及び総合的な問題発見・課題解決能力を身につけ、自主性・創造性と社会に貢献する態度・志向性を持っている堅実・誠実な職業人を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

- 1 個性的かつ堅実な人間性、自主性、創造性が身につけている。
- 2 人類の文化、社会と自然に関する豊かな教養と科学的・論理的思考法、情報処理技術、コミュニケーション能力を身につけ、自ら学ぶことの喜びを知っている。
- 3 実践的で体系的な専門的知識と技能を身につけ、総合的な問題発見・課題解決能力を持っている。
- 4 職業観を持ち生涯学習し続ける能力を有している。
- 5 倫理観を持った市民として地域社会の発展に貢献する高い意識を持っている。
- 6 多様な言語・社会・文化を理解し、国際人として活躍する素地を持っている。

(2) 鹿児島女子短期大学

【教育理念】

建学の精神の下、学園の伝統を継承しつつ、最新の知識と専門の学芸を教授研究し、創造力・実践力に富み、家庭に社会に個人の持つ可能性を具現できる高い教養と人間性豊かな女性を育成するとともに、国際的視点に立って社会の充実発展に寄与する人材の育成に努める。

【教育目標】

- 1 豊かな情操と高い教養を培い、心身ともに健康で調和のとれた人間像を目指して自己啓発を促す。
- 2 現代生活に即した専門的知識と実践的スキルを習得させ、自ら課題に対応する能力と創造性の発揚に努める。
- 3 人間関係に適切に対応し得る能力を養成し、その能力を円滑に機能させる社会性を培う。
- 4 自ら判断し行動する主体性を涵養し、家庭や職場の有為な人材の育成に努める。
- 5 地域との密接な連携に基づく実践的教育により、地域活性化の意欲的な担い手の育成を目指す。
- 6 国際理解の教養と態度を育成し、洗練された国際人となる素地を習得させる。

(3) 志學館高等部・中等部

【教育理念】

清新な発想のもとに「たしかな学力、ゆたかな人間性、たくましい行動力」を身につけた心身ともに健やかな人間を育成する。

【教育方針】

男女共学の進学校として学力開発と人間性開発を推進し、個性の伸張を図るとともに高い教養、豊かな情操を養い、意欲と情熱をもった自己教育力のある人間を育成する。

(4) 鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園

【教育目標】

一人ひとりの幼児の個性を伸ばし、豊かな心情や主体性・創造性を育て、心身ともに健全な人間の生きる力の基礎を培う。

【めざす幼児の姿】

げんきであかるい子 なかよくあそぶ子 よくかんがえくふうする子

(5) なでしこ保育園

【保育方針】

- 1 一人一人を大切に丁寧な保育を行い、自立した生活習慣を身につけ、健康な体、豊かな情緒、素直な表現力をもてる子どもの育成に努める。
- 2 身近な環境や自然と触れ合う中で豊かな感性を育み、創造力をふくらませ、友達との関わりの中で秩序や協調性をもてる子どもの育成に努める。

【保育の目標】

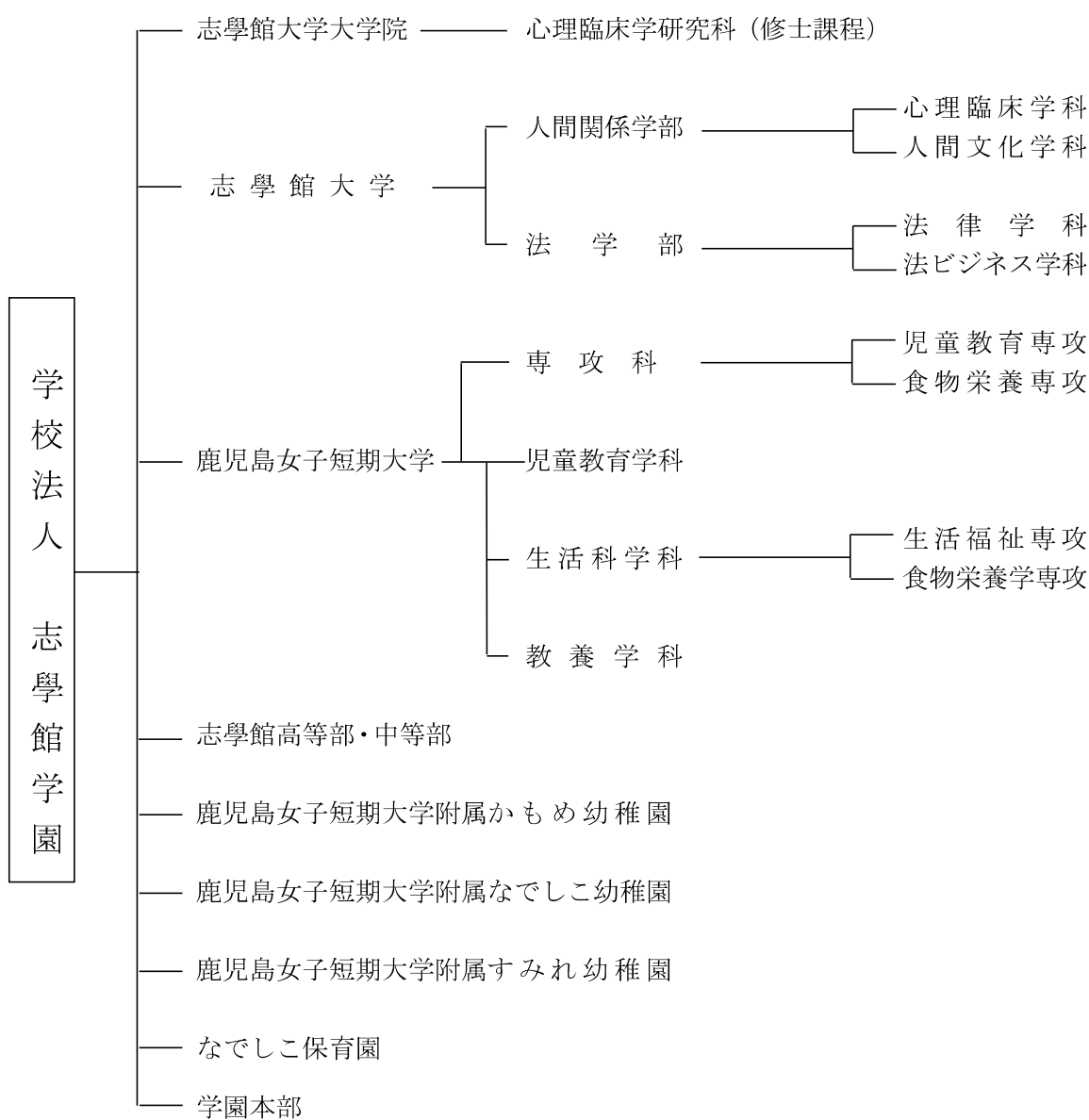
「一人一人を大切に感性豊かな子ども」の育成を目指す。

2. 志學館学園の沿革

明治	40年	8月	鹿児島女子手藝伝習所開設
	41年	2月	鹿児島女子技藝學校設置認可
大正	15年	6月	鹿児島女子技藝學校の名称を鹿児島高等實踐女學校と改称認可
昭和	23年	4月	学校教育法第1条に定める高等学校に昇格、鹿児島実践女子高等学校と改称
		4月	財団法人実践学園設立認可
	26年	2月	財団法人の組織を変更し、私立学校法に定める学校法人実践学園設立認可
	31年	4月	鹿児島実践女子高等学校全日制普通科開設
	35年	4月	鹿児島実践学園幼稚園教員養成所開設（昭和41年3月31日廃止）
	38年	5月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園設置認可
	40年	1月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園を鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園と改称認可
		4月	鹿児島女子短期大学開設（幼児教育科）
	41年	4月	鹿児島女子短期大学家政科開設
	42年	4月	鹿児島女子短期大学教養科開設
	42年	12月	鹿児島女子短期大学家政科を食物栄養学専攻、家政専攻に専攻分離認可
	43年	4月	鹿児島女子短期大学幼児教育科を児童教育科に改称
		4月	鹿児島実践女子高等学校に食物科設置
	46年	4月	鹿児島女子短期大学児童教育科を児童教育学科とし、その専攻を初等教育学専攻、幼児教育学専攻。家政科を家政学科とし、その専攻を家政学専攻、食物栄養学専攻。教養科を教養学科とし、それぞれ学科名、専攻名を名称変更
	49年	4月	鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園開設
	50年	4月	鹿児島女子短期大学家政学科の専攻を被服学専攻、家政学専攻、食物栄養学専攻に分離変更
	54年	4月	鹿児島女子大学文学部（国文学科・英文学科・人間関係学科）開設
	58年	4月	鹿児島実践女子高等学校の校名を鹿児島女子大学附属高等学校と改称
	61年	4月	鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園開設
	62年	4月	志學館中等部開設
	63年	4月	鹿児島女子短期大学専攻科（児童教育専攻・家政専攻・食物栄養専攻・教養専攻）開設
平成	1年	4月	鹿児島女子短期大学家政学科を生活科学科に名称変更
	2年	4月	志學館高等部開設
	4年	4月	鹿児島女子大学文学部英文学科を英語英文学科に改称

7年	4月	鹿児島女子短期大学専攻科家政専攻を生活科学専攻に改称
11年	4月	学校法人実践学園を学校法人志學館学園と改称
	4月	鹿児島女子大学を志學館大学と改称し、法学部法律学科を開設
	4月	鹿児島女子短期大学生活科学科に生活福祉専攻を開設
	4月	鹿児島女子大学附属高等学校を鹿児島学芸高等学校と改称
15年	4月	志學館大学文学部を募集停止し、人間関係学部心理臨床学科・人間文化学科を開設
17年	4月	志學館大学大学院心理臨床学研究科（修士課程）設置
18年	3月	鹿児島学芸高等学校廃止
19年	4月	学校法人志學館学園 なでしこ保育園開設
20年	4月	志學館大学法学部法ビジネス学科開設
21年	4月	鹿児島女子短期大学を鹿児島市紫原から鹿児島市高麗町へ移転
22年	4月	鹿児島女子短期大学児童教育学科の専攻を廃止し学科に統合
23年	4月	志學館大学を霧島市隼人町から鹿児島市紫原へ移転
31年	3月	鹿児島女子短期大学生活科学科生活科学専攻及び専攻科生活科学専攻を廃止

3. 志學館学園の組織



4. 各学校等の所在地

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・志學館大学 | 鹿児島市紫原1-59-1 |
| ・鹿児島女子短期大学 | 鹿児島市高麗町6-9 |
| ・志學館高等部・中等部 | 鹿児島市南郡元町32-1 |
| ・かもめ幼稚園 | 鹿児島市紫原1丁目19-20 |
| ・なでしこ幼稚園 | 鹿児島市明和2丁目41-1 |
| ・すみれ幼稚園 | 鹿児島市皇徳寺台4丁目44-1 |
| ・なでしこ保育園 | 鹿児島市明和2丁目41-1 |
| ・学園本部 | 鹿児島市高麗町5-27 |

5. 志學館学園の役員〔令和3年3月31日現在〕

*理事 7人以上9人以内 現員8人

役員名	勤務	氏名	現職
理事長	常勤	志賀 啓一	志學館学園理事長
理事	〃	志賀 壽子	志學館学園学園長
〃	〃	松岡 達郎	志學館大学学長
〃	〃	阿部 哲郎	志學館学園本部事務局長
〃	〃	村若 修	鹿児島女子短期大学副学長
〃	非常勤	永山 在紀	南国殖産株式会社代表取締役社長
〃	〃	吉田 健朗	株式会社南日本総合サービス代表取締役社長
〃	〃	清水 昭雄	志學館大学前学長

*監事 2人又は3人 現員2人

役員名	勤務	氏名	現職
監事	非常勤	大津 学	株式会社大津倉庫代表取締役社長
〃	〃	久永 修平	株式会社久永代表取締役社長

*評議員 17人以上19人以内（ただし、理事の2倍を超える人数）
現員 志賀 啓一 他16名

6. 各学校の状況

(1) 令和2年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数

令和2年5月1日現在

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数	収容定員	在籍者数
志 学 馆 大 学	大 学 院 (心理臨床学研究科)	人 10	人 11	人 20	人 22
	人間関係学部 (心理臨床学科) (人間文化学科)	200	238	750	860
		130	155	526	580
		70	83	224	280
	法 学 部 (法 律 学 科) (法ビジネス学科)	145	181	545	639
				311	435
			234	204	
	大学 計	355	430	1,315	1,521
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	児童教育学科	210	189	450	390
	生活科学科 (生活福祉専攻) (食物栄養学専攻)	80	48	210	101
		20	8	50	18
		60	40	160	83
	教 養 学 科	80	63	180	132
	専 攻 科	40	0	40	0
	短大 計	410	300	880	623
志 学 馆 高 等 部		160	84	480	292
志 学 馆 中 等 部		120	84	360	274
か も め 幼 稚 園		—	—	260	228
な で し こ 幼 稚 園		—	—	240	170
す み れ 幼 稚 園		—	—	180	204
学 園 合 計		1,045	898	3,715	3,312

【附帯事業】

なでしこ保育園		—	—	40	41
---------	--	---	---	----	----

(2) 令和3年度 入学定員・入学者数

令和3年5月1日

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数
志 學 館 大 学	大学院 (心理臨床学研究科)	人 10	人 10
	人間関係学部 (心理臨床学科)	200 130	220 152
	(人間文化学科)	70	68
	法 学 部	145	143
	大学 計	355	373
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	児童教育学科	210	199
	生活科学科	80	73
	(生活福祉専攻)	20	12
	(食物栄養学専攻)	60	61
	教 養 学 科	80	91
専 攻 科	40	0	
	短大 計	410	363
志 學 館 高 等 部		160	94
志 學 館 中 等 部		120	79

(3) 令和2年度 教職員数

令和2年5月1日現在

学校名		理事長	教育職員	事務職員等	合計
志学館大学			57	36	93
鹿児島女子短期大学			47	29	76
志学館	高等部		23	5	28
	中等部		22	6	28
	小計		45	11	56
かもめ幼稚園			15	2	17
なでしこ幼稚園			10	2	12
すみれ幼稚園			13	2	15
学園本部		1		13	14
合計		1	187	95	283
なでしこ保育園				15	15
合計(含む保育園)		1	187	110	298

* 上記は専任教職員数

IV 令和2年度 学校法人志學館学園 事業報告

平成28年度を初年度とする第3次経営計画「志學館未来計画2016-2021」は、各設置校及び学園本部において「基本計画」⇒「取組戦略」⇒「具体的な取組み内容」と計画から戦略へと展開し、6か年の行動の指針となる「施策」を策定したものです。令和2年度はその5年目として、学園全体で390の事業計画を推進いたしました。

1. 令和2年度短期事業計画の進捗状況

◆ 評価結果

評価区分	S	A	B	C	D	小計	E	合計
(達成率)	100% ～	99%～ 80%	79%～ 50%	49%～ 20%	19%～ 0%	-	見直 施策	-
志學館大学	7	55	25	14	1	102	0	102
鹿児島女子短期大学	3	31	6	3	0	43	0	43
志學館高等部・中等部	2	21	21	3	2	49	0	49
かもめ幼稚園	1	22	7	0	0	30	0	30
なでしこ幼稚園	0	14	4	0	0	18	0	18
すみれ幼稚園	5	35	14	9	2	65	0	65
なでしこ保育園	0	9	4	5	0	18	0	18
学園本部	7	21	9	11	12	60	5	65
計	25	208	90	45	17	385	5	390

◆ 達成度

評価区分	S	A以上	B以上	C以上	D以上
志學館大学	7%	61%	85%	99%	100%
鹿児島女子短期大学	7%	79%	93%	100%	100%
志學館高等部・中等部	4%	47%	90%	96%	100%
かもめ幼稚園	3%	77%	100%	100%	100%
なでしこ幼稚園	0%	78%	100%	100%	100%
すみれ幼稚園	8%	62%	83%	97%	100%
なでしこ保育園	0%	50%	72%	100%	100%
学園本部	12%	47%	62%	80%	100%
計	6%	61%	84%	96%	100%

※施策を計画化し実行している「B」以上は、学園全体で84%となりました。

2. 令和2年度短期事業計画の具体的な取組内容

(1) 志學館大学

《Ⅰ. 教育・研究活動》

- ・3つのポリシーを検証しアドミッションポリシーの一部を改正
- ・年度途中での授業計画変更に対応できる柔軟なシラバス編集体制を構築
- ・FKテストと入試区分や成績等との関連性の分析を実施
- ・年次進行による公認心理師科目（特に心理臨床実践コースの学生を対象にした「心理演習」「心理実習」）を開講

《Ⅱ. 学生支援》

- ・学習力支援のための高大接続教育センターを設置
- ・中途退学者及び除籍者に関する調査・分析を行いIR報告書を作成
- ・コロナ禍に伴う遠隔講義の実施に対応するため、既存の対面講義用のMoodle等を利用した本学オリジナルの遠隔講義の枠組みを整備構築

《Ⅲ. 管理運営》

- ・アクティブラーニングの改善に関するFD研修会を実施
- ・学生ポータルサイトを新型コロナウイルス対応に係る各種情報の送受信に活用

《Ⅳ. 学生受入》

- ・入試改革・高大接続教育に関する意見収集のための高校訪問を実施
- ・大学院入試専用のパンフレットを作成、第1回となる大学院説明会を開催

《Ⅴ. 社会貢献》

- ・中小企業家同友会との意見交換会を開催しESDプログラムに関する意見を収集
- ・SDGs教育について鹿児島女子短期大学と協議を実施
- ・コロナ禍の中、同窓会役員会をWeb会議にて開催

(2) 鹿児島女子短期大学

《Ⅰ. 教育・研究活動》

- ・認定絵本土養成講座を立ち上げ、今後の継続のための基盤作りにも着手
- ・新型コロナウイルス対策のため複数の実習を学内実習へ移行せざるを得なかった中、実施内容を十分に精査検討し対応
- ・IR情報提供による業務改善状況に関する調査と各部署のIR情報に関する評価を実施
- ・日本事情Ⅰ・Ⅱの科目を開講し日本語教育の充実化を推進

《Ⅱ. 学生支援》

- ・学習支援員による簿記会計講座を実施
- ・遠隔授業の方法等について2回のFD・SD研修会を開催

《Ⅲ. キャリア教育・進路支援》

- ・学生がコロナ禍における進路支援ガイダンスを集中して受講できる環境を整備
- ・Web上で学生の進路調査を試行、結果のデータベース化の検討に着手

《Ⅳ. 学生受入（学生募集）》

- ・前年度各学科等で議論検討した新たな入試を令和3年度入試より実施
- ・広報の在り方を見直し新たな SNS 媒体の活用等にて高校生への広報活動を重点的に実施

《Ⅴ. 社会貢献》

- ・附属幼稚園と連携し新教職課程へ向けた共同研究や論文作成を実施
- ・志学館大学社会連携センター長と協議し共催でのシンポジウムを企画
- ・生涯学習講座として管理栄養士国家試験対策講座を13回開講し成果を検証

《Ⅵ. 管理・運営》

- ・令和3年度運営組織について統廃合等再編を行い体制を効率化
- ・保健管理委員会を中心に新型コロナウイルス感染拡大防止策を実施

《Ⅶ. 施設・設備》

- ・年度末に学生生活アンケートを行い満足度を調査
- ・車いすの学生も通行しやすいように西館1階の廊下に自動ドアを2か所設置
- ・遠隔授業・遠隔会議に備え Microsoft Teams や Zoom の調査や説明会を実施

(3) 志学館高等部・中等部

《Ⅰ. 進学校としての教育活動の推進》

- ・新たにスタートした「大学入学共通テスト」1回目の傾向を踏まえ、6年間の教育・指導体制の再構築に着手
- ・各教科でICTを活用する授業が増加し教材研究を継続実施
- ・新しい生活様式を踏まえた学校行事を実施、次年度以降も継続検討
- ・外部教材を全学年で導入、研修会を開催し活用が活発化

《Ⅱ. 機能的な学校運営》

- ・校務システムの導入により各種生徒情報のデータベース化が完了
- ・コロナ禍により外部研修が制限される中、オンライン型の研修を活用
- ・職員会議等を利用してコンプライアンス研修会を実施

《Ⅲ. 教育環境の充実》

- ・5か年計画で推進した普通教室への単焦点プロジェクター設置が完了
- ・校内無線LAN環境の拡張を実施

《Ⅳ. 生徒募集対策》

- ・コロナ禍を受け事前予約制かつ2部制の学校説明会を開催
- ・各種SNSによる広報の実施を検討

《V. 学園内外との連携》

- ・ 寮チューター配置にむけ定期的な情報交換と情報提供を実施

(4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園

《I. かもめ色の幼稚園教育の充実》

- ・ 楽器演奏に向けた指導方法の実技研修を全教員で実施

《II. 教職員の資質向上と人材確保の強化》

- ・ 研究保育をはじめとする保育研究会等で指導案を検討
- ・ コロナ禍により外部研修が制限される中、オンライン型の研修を活用

《III. 広報・募集活動の強化》

- ・ 日常保育・行事・園外保育等の様子をホームページで広報
- ・ 各種 SNS を活用した広報の検討に着手

《IV. 設置校・地域との連携強化》

- ・ コロナ禍で地域行事の中止が続く中、可能な限り参加して連携を強化
- ・ 近隣の中学校から職場体験を受入、高校生の受入も検討中

《V. 運営の効率化》

- ・ 園児の体験を重視した行事の改善を実施
- ・ 職員室内の環境改善を図り業務効率化を推進

(5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園

《I. なでしこ色の幼稚園教育の充実》

- ・ 「なでしこの森」を活用した園庭活動の充実化を推進
- ・ 研究保育や保育研究会での実践・協議や日々の保育実践協議で指導力を向上

《II. 教職員の資質向上と人材確保の強化》

- ・ 年間計画に基づき「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した研修を実施

《III. 広報・募集活動の強化》

- ・ コロナ禍を受けスタートが遅れたが未就園児クラブを年 11 回、園庭開放を年 5 回実施
- ・ SNS (Instagram) を活用した広報を継続実施

《IV. 設置校・地域との連携強化》

- ・ 園内楽器研修会や三園夏季セミナーにおいて鹿児島女子短期大学教授を講師に招聘
- ・ 校区スクールゾーン委員会等の地域コミュニティへの積極的な参加

《V. 運営の効率化》

- ・ 週報やクラスだより等の配布物の配布方法を改善 (バス運行管理システムを利用)
- ・ 各種行事運営のマニュアル化を継続

(6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園

《Ⅰ. すみれ色の幼稚園教育の充実》

- ・アプローチカリキュラムの一環として年長クラスへひらがな指導を実施
- ・新型コロナウイルス感染防止を念頭に安心安全を最優先した行事の企画・実施

《Ⅱ. 教職員の資質の向上と人材確保の強化》

- ・コロナ禍で園外研修が制限される中、研究保育等の内部研修を強化

《Ⅲ. 広報・募集活動の強化》

- ・園内掲示板で毎月の保育活動の広報を実施
- ・「すみれちゃん」オリジナルグッズを製作・配布

《Ⅳ. 設置校・地域との連携強化》

- ・地域作品展（作品展示・提供）との連携を図った教育課程の再編を実施
- ・鹿児島女子短期大学と教育実習に関する情報交換を定期的を実施

《Ⅴ. 運営の効率化》

- ・職員室内収納庫及び更衣・休憩室を整備し業務環境を改善
- ・バス運行管理システムを活用した保育料等引落の仕組みを構築

(7) なでしこ保育園

《Ⅰ. なでしこ色の保育園教育の充実》

- ・新保育指針にもとづき年次に応じた担当者を配置し計画的な保育を展開
- ・一時保育利用者に保護者送迎時の参観を実施

《Ⅱ. 教職員の資質向上と人材確保の強化》

- ・園内研修の充実とキャリアアップ研修・オンライン研修の受講を推進
- ・鹿児島女子短期大学の就職説明会に参加

《Ⅲ. 広報・募集活動の強化》

- ・日々の保育の様子や自園給食の献立等をホームページに公開

《Ⅳ. 設置校・地域社会との連携強化》

- ・同一敷地内のなでしこ幼稚園との共同行事を開催
- ・明和小学校の児童との交流会を開催

《Ⅴ. 運営の効率化》

- ・園務管理システムの導入とPCの増台を図り業務効率化を推進
- ・定例化した行事の再構築を行い内容を充実化

(8) 学園本部

《Ⅰ. 「経営力」の強化》

- ・競争的補助金の採択にて収入増に寄与
- ・高等・幼児教育無償化制度施行に伴い鹿児島女子短期大学・附属幼稚園の学納金を改定し運用を開始
- ・設置4寮の食堂委託業者・委託料の見直しを実施
- ・コロナ禍の中、web オープンキャンパスや SNS を活用した情報発信を各設置校にて実施

《Ⅱ. 「組織力」の増強》

- ・年次有給休暇5日取得必置化を各種会議・監査等で周知徹底
- ・新型コロナウイルス感染症拡大時の遠隔・分散授業等のシステムを検討・提言

《Ⅲ. 「連携力」の構築》

- ・業務改善提案制度による教科書販売の問題提起に取り組み web 販売化を促進
- ・幼稚園教諭の業務実態を把握し働き方改革につながる業務改善を実施

《Ⅳ. 「環境力」の充実》

- ・志学館大学40周年記念館新築事業に着工
- ・新型コロナウイルス感染症対策として志学館大学カフェテリア増床工事に着工
- ・志学館大学・鹿児島女子短期短大に自動ドア、志学館中高等部に多目的トイレを設置しバリアフリー化を推進

《Ⅴ. 「改革力」の創出》

- ・収益事業部による設置校オリジナルグッズの販売を検討
- ・鹿児島女子短期大学において公共職業訓練長期高度人材養成コース（保育士・介護福祉士・栄養士）の受入を実施

(9) 6か年施設設備投資計画事業執行状況

1. 志学館大学40周年記念館新築事業

- サブ体育館解体（令和2年度に完了）
- 40周年記念館新築（令和2年度に着工、令和3年度末に竣工予定）

3. 令和2年度設置校別事業計画達成度評価

組織名称	志 学 館 大 学
------	-----------

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
I 教育・研究活動	1 「学士力(人間力)」を保证する教育	① 人間力を保証する教育	9		5	2	2			9
		② 教育課程・方法の検証	9	2	5	2				9
	2 皆資格・高資格を目指す教育	① 教職課程の充実	1		1					1
		② 資格センターの充実	1		1					1
		③ 新たな国家資格への対応と準備	4		3		1			4
	3 研究活動の充実	① 教員の研究活動の質向上	1			1				1
		② 地域課題解決に向けた研究活動の推進	1		1					1
	4 大学院教育の充実	① 大学院教育の充実	3		3					3
	5 国際交流・多様なニーズへの対応	① 国際交流文化の醸成	3		1		2			3
		② 留学生および社会人教育の在り方の検討	1				1			1
II 学生支援	1 学修・適応支援の強化	① 学生支援体制の充実	9		8	1				9
		② ICT活用による学生支援システムの構築	0							0
	2 学修環境の整備	① 教育環境の整備	3	1	1	1				3
		② 学生アメニティの向上	1	1						1
	3 進路支援の強化	① キャリア教育の支援と充実	1		1					1
		② 進路支援体制の充実	2	1	1					2
	4 学生生活支援	① 学生生活支援	2		1	1				2
	III 管理運営	1 大学諸制度の検証と再構築	① 学教法以下の国の制度に合致した学内制度の確立	1			1			
② 内部質保証のための制度の整備			3		1	2				3
③ 高大接続のあり方の検討			2	1	1					2
④ 大学諸制度の検討			2		2					2
2 組織力向上とガバナンスの強化		① 業務効率化	5		4	1				5
		② リスク管理とコンプライアンスの強化	2		1	1				2
3 IRの推進		① 情報集約・分析とその有効活用	2		2					2
		② 種々の学生調査等の実施	1		1					1
		③ 学生要望調査等のフィードバック	1		1					1
4 情報基盤の整備		① セキュリティ強化	1			1				1
		② 環境変化に対応した情報基盤のアップデート	1		1					1
		③ リスク管理とコンプライアンスの強化	1					1		1
5 大学資源の有効活用		① 多目的施設の整備に関する検討	2	1	1					2
		② 施設の有効利用の推進	1			1				1
6 40周年記念行事の推進		① 40周年記念行事の確実な進捗	0							0
IV 学生受入		1 入学定員の充足	① 広報力の強化	4		2	2			
	② 募集活動の強化		3		3					3
	2 設置校間連携	① 志学館中高等部との連携の強化	1				1			1
		② 鹿兒島女子短大との連携の強化	2				2			2
	3 ステークホルダーとの連携強化	① 後援会連携	1			1				1
	4 入学定員の管理	① 入学者選抜の確実化	1		1					1

組織名称

志 学 館 大 学

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
V 社会貢献	1 地域貢献	① 地域協働センター活動の充実	2				2			2
		② 生涯学習センター活動の充実	3		1	1	1			3
		③ 心理相談センター及び発達支援センター活動の充実	2		1	1				2
		④ 地域社会への教育課程の開放	1				1			1
	2 地域に根差した大学作り	① 自治体・企業・団体等との連携	3			3				3
		② 地域課題への積極的な取組	1				1			1
	3 ステークホルダーとの連携強化	① 同窓会連携	1			1				1
		② 後援会連携	1			1				1
	計			102	7	55	25	14	1	0

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価								
				S	A	B	C	D	E	計		
I 教育・研究活動	1 「学びの質」の向上	① 「主体的な学び」の推進	5		3	2					5	
		② 学習支援・履修指導の充実	0								0	
		③ きめ細かい実習指導の実現	1		1						1	
		④ 研修の充実	1	1							1	
	2 教育課程の検証と見直し	① カリキュラム・ポリシーの検証	0								0	
		② 教養教育の検証	1		1						1	
	3 教育方法の検証	① 学びの可視化の検証	2			1	1				2	
		② IRの推進	1		1						1	
	4 地域の担い手育成教育の推進	① COC科目の充実	1		1						1	
		② 地域との連携教育の充実	1		1						1	
		③ 地域貢献活動の促進	0								0	
	5 グローバル化への対応	① グローバル化を意識した教育の充実	1				1				1	
		② 海外研修の充実	1				1				1	
	6 研究活動の充実	① 地域の特性を生かした研究の促進	1		1						1	
		② 学科教員による共同研究の促進	1		1						1	
	II 学生支援	1 多様な学生に対する支援の充実	① 多様な学生に対する支援の充実	3	1	2						3
		2 教員の「教師力」の向上	① 教員の「教師力」の向上	1		1						1
		3 特待生・奨学生制度の充実	① 特待生・奨学生制度の充実	1	1							1
III キャリア教育・進路支援	1 キャリア教育・支援の充実	① キャリアガイダンス	1		1						1	
		② インターンシップ	0								0	
	2 進路支援の充実	① 公務員、教員採用試験、進学対策の支援	0								0	
		② 資格取得支援	0								0	
		③ 報奨制度の検討	0								0	
④ 進路に関する調査と分析	1		1							1		
IV 学生受入（学生募集）	1 高大接続改革の動きへの適切な対応	① アドミッション・ポリシーの精緻化	0								0	
	2 入学定員の充足	① 外部環境の変化に対する適切かつ柔軟な対応	1		1						1	
		② 志学館大学との連携	0								0	
		③ マーケティングを活用した募集活動の効率化	0								0	
	3 広報活動の充実	① 広報活動の充実	1		1						1	
4 学生受入に対する多様なニーズへの対応	① 学生受入に対する多様なニーズへの対応	0								0		
V 社会貢献	1 地域貢献	① 公開講座の充実	0								0	
		② ボランティア活動の推進	0								0	
	2 地域創生・連携	① 自治体・企業・団体等との連携	0								0	
		② 他大学等との連携	0								0	
	3 各設置校との連携	① 附属幼稚園・なでしこ保育園との連携	1		1						1	
		② 志学館大学との連携	1		1						1	
	4 卒業生との連携	① 同窓会との連携	1		1						1	
		② リカレント教育の実施	1		1						1	
		③ 卒業生に対する調査と分析	1			1					1	

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
VI 管理・運営	1 政策・制度変更等への的確な対応	① 政策・制度変更等への的確な対応	1		1					1
	2 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	① 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	0							0
	3 組織体制の検証	① 組織体制の検証	1		1					1
	4 FD・SDの推進と学内研修体制の充実	① FD・SDの推進と学内研修体制の充実	2		2					2
	5 ガバナンスの充実	① 教職協働体制の推進	1			1				1
		② コンプライアンスの徹底	1		1					1
6 危機管理体制の充実と高度化	① 危機管理体制の充実と高度化	1		1					1	
VII 施設・設備	1 安全かつエコロジカルな機能性の高い施設・設備の整備	① 学生満足度を高めるアメニティの整備の検討	1		1					1
		② バリアフリー化の整備の推進	0							0
		③ 学生寮の充実	1		1					1
	2 施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	① 施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	1		1					1
	3 ICTの高度化	① ICT環境の充実	1			1				1
		② 学生・教職員のICTスキル向上	1		1					1
計			43	3	31	6	3	0	0	43

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
I 進学校としての教育活動の推進	1 教育理念・教育方針の再確認	① 教育理念・教育方針の再確認と明確化	1			1				1
		② 教職員間における教育理念と方針の共通理解	0							0
		③ 教育理念を支えるコア教科の作成	1			1				1
	2 中高一貫校の特性を活かした教育課程の実施	① これからの6ヵ年教育を見据えたカリキュラムの作成	1			1				1
		② 教育方針に基づいたシラバスの作成	3		2			1		3
		③ 習熟度に応じた指導体制の強化	5			5				5
		④ 高等部入学者への指導体制の改善	0							0
		⑤ 勉学と部活動のバランス最適化	0							0
		⑥ 新学習指導要領等への対応の研究	1			1				1
	3 学力開発・人間性開発の発展	② 学校行事の整理および体系化	1	1						1
		③ LHR・SDPの在り方と一貫性のある指導の確立	0							0
		④ アクティブラーニング実施に向けての研究	3			3				3
		⑤ いじめ防止の徹底	2		2					2
		① 教員のICTを活用した教材・授業の研究	2			2				2
	4 ICTを活用した教育の確立	② 模試成績におけるデジタルコンテンツの活用	2		2					2
		③ 受験サプリ等外部教材の導入検討	0							0
		① 留学生受入体制の組織化	0							0
	5 国際化に対応した教育指導体制の研究	② 新テストに対応した英語の指導体制の構築	1			1				1
		③ SDP国外体験学習の研究	0							0
		④ 短期留学プログラムの研究	0							0
		⑤ ディベート・英作文指導に対応した外国人雇用の検討	0							0
		① 外部教材の活用	1		1					1
	6 キャリア教育の充実	② ライフスキル教育の導入検討	1			1				1
		③ インターンシップの研究	1			1				1
④ 後援会の活用		0							0	
① 校務分掌の再組織化		0							0	
1 校務分掌の検証と役割分担の明確化	② 各部の校務再検討	2		1	1				2	
	① 情報共有システムの活用	4		3		1			4	
2 情報共有の徹底による業務の効率化	② 各部門の情報共有の徹底	1		1					1	
	③ 情報・書類などの電子化	0							0	
	① 教育環境充実に図るための教員増員の検討	0							0	
3 教職員の配置									0	
4 各種制度の検証と構築	① 奨学金制度の検証と構築	0							0	
	② 特待生制度の検証と構築	0							0	
5 教職員研修制度の充実による教職員のスキル向上	① 研修部門の活性化	0							0	
	② 教職員のスキル向上のための研修制度の充実	3			1	1	1		3	
6 各種評価制度の充実	① 学校評価制度の充実	0							0	
	② 授業評価制度の充実	0							0	
7 学校運営に関する意識の向上	① コンプライアンスの確認と徹底	1		1					1	
	② 危機管理の徹底	1		1					1	
	③ 機密保持意識の浸透	0							0	

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価							
				S	A	B	C	D	E	計	
Ⅲ 教育環境の充実	1 ICT機器の導入および研究	① 教育用視聴覚機器等の設置	1		1						1
		② 教職員用の電子端末導入	0								0
		③ ICTの研究部門の設立	2		2						2
	2 学内諸施設及び機器の整備	① 情報共有システムの更新	1		1						1
		② 学校施設の整備	0								0
		③ スクールバス運行体制の検証	1		1						1
	3 インクルーシブ教育環境の整備	① インクルーシブ教育環境の研究	0								0
		② 教員・生徒の意識向上	0								0
	4 職員福利厚生充実	① 職員福利厚生設備の整備	0								0
		② 職員福利厚生制度の検証	1		1						1
5 家設備の整備	① 家のアメニティの向上の検討	0								0	
Ⅳ 生徒募集対策	1 入試制度の再検討	① 高等部募集の再検討	1			1				1	
	2 広報部門の見直し	① 広報部門専任者の配置	0							0	
		② 学校訪問の在り方の検証と構築	0							0	
	3 効果的な広報戦略の研究と実践	① 学校説明会の検証と構築	0							0	
		② 生徒目線のオープンスクールの研究と実施	0							0	
	4 保護者満足度の向上	① 学内情報の広報活動強化	1			1				1	
② 保護者と担任・学年主任との連携強化		1	1						1		
Ⅴ 学園内外との連携	1 生徒寮生活の充実	① 寮の指導体制の検証と構築	0							0	
		② チューターの配置検討	1		1					1	
	2 同窓会・後援会との連携	① 同窓会・後援会との連携強化	0							0	
		② 卒業生の人材活用	0							0	
	3 設置校との連携	① 設置校の施設の利用促進	0							0	
		② 設置校との人材交流の活発化	0							0	
	4 外部機関との連携	① 県・大学との連携の研究推進	0							0	
		② 塾・予備校との連携の検討	0							0	
	5 地域との関係強化	① 地域への学校行事の広報活動強化	0							0	
		② 地域清掃の継続実施	1				1			1	
③ 体育館等の施設開放の検討		0							0		
計			49	2	21	21	3	2	0	49	

組織名称	鹿 児 島 女 子 短 期 大 学 附 属 園 か も 女 子 幼 稚 園
------	------------------------------------------

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
Ⅰ かもめ色の幼稚園教育の充実	1 預かり保育の充実	① 預かり保育の充実	0							0
	2 ICT教育の充実	① ICT教育機器の導入と活用の検討	0							0
	3 就学を意識した教育の充実	① 文字習得や楽器演奏等の教育内容の充実	2		2					2
		② ニーズの合致した課外教室の開設	0							0
Ⅱ 教職員の資質向上と人材確保の強化	1 教職員の資質向上	① 若手教職員の力量形成	2		1	1				2
		② 園内外研修の充実	3		3					3
	2 教職員研修の充実	① ICT活用教育研修の充実	0							0
		② 接遇研修の充実	2		1	1				2
Ⅲ 広報・募集活動の強化	1 ICTを活用した広報の展開	① 幼稚園教育と預かり保育の複合的な効果の広報	1			1				1
		② 充実した施設の広報	1		1					1
		③ 園の保育方針の広報	2		2					2
	2 新たな広報戦略の検討	① ホームページ・LINE・Facebook・メディア等の媒体を活用した新たな広報戦略の検討	2	1		1				2
	3 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「かもへいくん」オリジナルグッズ等による募集広報活動の強化	1		1					1
Ⅳ 設置校・地域との連携強化	1 地域との連携強化	① 子育て支援などによる社会貢献の推進	2		2					2
		② 職場体験の継続的受け入れによる幼稚園教育普及の推進	1			1				1
	2 設置校・姉妹園との連携強化	① 附属幼稚園と短大の連携体制の検証	0							0
		② 三園合同行事・研究等の検証と構築	1		1					1
		③ 小中高等学校・短大・大学との連携強化	3		1	2				3
		④ 幼稚園教育の施策や地域・他園の情報収集の強化	1		1					1
	4 保護者・卒園生との連携強化	① 卒園生との連携強化	1		1					1
② 保護者との連携強化		1		1					1	
Ⅴ 運営の効率化	1 職場環境の充実	① 一体感のある組織風土の醸成	2		2					2
		② 複数担任制の体制構築と導入の検討	1		1					1
		③ ICTを活用した職場環境の充実	0							0
	2 定例化した行事の検証と構築	① 定例化した行事の検証と構築	1		1					1
計			30	1	22	7	0	0	0	30

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
I なでしこ色の幼稚園教育の充実	1 課外教室教育の特色化	① 課外教室の再検証とニーズに合致した教室の開設	0							0
	2 環境を生かした体験型教育の充実	① なでしこの森を生かした自然体験活動や行事の充実	0							0
	3 特別支援児・2歳児へのサポート体制の確立	① 支援補助対象認定手続きサポート	0							0
		② 支援補助体制の検証と構築	0							0
		③ 教育相談体制の充実	0							0
4 就学を意識した教育の充実	① 文字習得や楽器演奏等の就学を意識した教育内容の編成	0							0	
II 教職員の資質向上と人材確保の強化	1 教職員の資質向上	① 資質向上を目的とした教職員研修体制の構築	3		2	1				3
		② 複数担任制の体制構築と導入の検討	0							0
	2 人材確保の強化	① 優秀な教諭の人材確保	2			2				2
		② 新規採用教諭への指導体制のマニュアル化	1			1				1
III 広報・募集活動の強化	1 2歳児受入の促進	① 2歳児へのサポート体制の確立と広報	2		2					2
	2 ICTを活用した幼稚園教育の情報発信	① ホームページ・LINE・Facebook等の情報媒体の活用	2		2					2
		② 広報誌・お便り・説明会の充実	1		1					1
		③ 「幼稚園教育の良さ」を発信する広報活動	1		1					1
	3 自園給食を生かした広報活動の強化	① 自園給食メニューのホームページへの掲載による広報活動	1		1					1
	4 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「モリーちゃん」オリジナルグッズ等による募集広報活動の強化	1		1					1
		5 園児送迎バスの郊外運行の充実	① 送迎バス増台による路線の強化	1		1				
	② ラッピングバスによる広報強化		0							0
IV 設置校・地域との連携強化	1 附属幼稚園教育の推進	① 鹿児島女子短期大学の人材・施設・情報を連携・活用した附属幼稚園教育の推進	0							0
		② 附属幼稚園と鹿児島女子短期大学の連携体制の検証	0							0
	2 小中学校・地域との連携強化と地域行事への積極的参加	① 連絡会・連携研修会等への出席	2		2					2
		② 地域行事への積極的参加	0							0
3 附属三幼稚園合同研究・活動の充実	① 三園合同行事・研究等の精査選別	1		1					1	
V 運営の効率化	1 保護者参加型の行事の検証と充実	① 共働き世帯が参加しやすい保護者行事の検討	0							0
	2 行事・活動の精査選別とマニュアル化	① 行事・活動の精査選別とマニュアル化	0							0
	3 教材・教具作成の効率化のためのマニュアル化	① 教材・教具作成の効率化のためのマニュアル化	0							0
	4 職場環境の充実	① マンパワーの充実	0							0
		② ICTを活用した職場環境の充実	0							0
計			18	0	14	4	0	0	0	18

組織名称	鹿 児 島 女 子 短 期 大 学 附 属 す み れ 幼 稚 園
------	--------------------------------------

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価							
				S	A	B	C	D	E	計	
Ⅰ すみれ色の幼稚園教育の充実	1 主体的学びの芽生えを育む保育の推進	① 主体的学びの芽生えを育む園児の姿の設定	1		1						1
		② 主体的学びの芽生えを育む教育課程の編成と実施	5		5						5
		③ 主体的学びを育てる保育方法の研究と実践	3		3						3
		④ 就学（小学一年生）を意識した教育の計画と実践	2	1	1						2
		⑤ 主体的学びを生かす環境の醸成	4	1	2			1			4
		⑥ 特別に支援を要する園児教育体制の充実	6	1	5						6
Ⅱ 教職員の資質の向上と人材確保の強化	1 教職員の資質の向上	① 園内研修体制の充実	1		1						1
		② 園外研修体制の充実	3		1	2					3
	2 人材確保の強化	① 優秀な人材の確保	2		1	1					2
		② 新規採用教諭への指導体制の強化	3		2	1					3
Ⅲ 広報・募集活動の強化	1 広報活動の強化	① 「幼稚園教育の良さ」を発信する広報活動	1		1						1
		② すみれ幼稚園の特色を生かした広報	2	1				1			2
		③ 保護者とともに成長する子供の姿の広報	2		2						2
		④ 幼稚園の見える化を意識した広報	2	1	1						2
		⑤ 認定手続き不要・就園奨励費補助金等の広報	1		1						1
	2 募集活動の強化	① 体験入園等による保育体験の提供	6			5	1				6
	3 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「すみれちゃん」オリジナルグッズ等による募集広報活動の強化	1		1						1
Ⅳ 設置校・地域との連携強化	1 保護者との連携	① 後援会活動の活性化	1			1					1
		2 鹿児島女子短期大学との連携	① 附属幼稚園と短大の連携体制の検証	0							0
	② 附属幼稚園としての職員の認識の向上		1				1			1	
	③ 短大イベントへの積極的参加		1				1			1	
	④ 保護者と実習生との関係強化		3				3			3	
	3 地域との連携	① 未就園児クラブを活用した地域へのアプローチ	1				1			1	
		② 運動会等の地域参加型活動の強化	4		1	1	2			4	
Ⅴ 運営の効率化	1 組織の改善	① 複数担任制の導入検討	1		1						1
		② 報告・連絡・相談の徹底	1		1						1
	2 預かり保育の改善	① 早朝預かり保育の受け入れ体制の確立	1		1						1
		② パスキャッチ導入による預かり保育体制の構築	1		1						1
	3 送迎バス運営の改善	① 他園の送迎状況の調査	1		1						1
		② 送迎エリアの見直しによる運行状況の改善	1			1					1
	4 職場環境の充実	① マンパワーの充実	1			1					1
		② 職員の職場環境の充実	1		1						1
		③ ICTを活用した職場環境の充実	1			1					1
計			65	5	35	14	9	2	0	65	

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
Ⅰ なでしこ色の保育園教育の充実	1 保育の充実と差別化	① 少人数担当保育の充実	1		1					1
		② 保育園から幼稚園への連動体制の構築	1			1				1
	2 子育て支援体制の充実	① 職員・専門員による在園保護者向けの子育て相談窓口の開設	1			1				1
	3 地域に密着した保育園教育の充実	① 地域向け子育てサロンの開設	1				1			1
		② 保護者参加型の未就園児半日体験入園の開催	1			1				1
Ⅱ 教職員の資質向上と人材確保の強化	1 教職員の資質向上	① 若年保育士の研修体制のマニュアル化	1		1					1
		② 学園内外研修への積極的参加	1		1					1
	2 人材確保の強化	① 実習生サポート体制の充実	1				1			1
		② サマーボランティア体制の充実	1				1			1
		③ 鹿児島女子短期大学学生への説明会や見学会の実施	1		1					1
Ⅲ 広報・募集活動の強化	1 ICTを活用した情報発信の強化	① ホームページ・LINE・Facebook等の情報媒体の活用	2		2					2
	2 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「なほちゃん」オリジナルグッズ等を活用した募集広報活動の強化	1			1				1
Ⅳ 設置校・地域社会との連携強化	1 本部・設置校との連携強化	① 本部・設置校との連携強化	1				1			1
	2 地域との連携強化に向けたイベントの充実	① 保育所地域活動事業の開催	1		1					1
		② ボランティア月間の実施	1				1			1
Ⅴ 運営の効率化	1 ICTを活用した情報の共有化	① 学園ネットワーク整備による情報の共有化	1		1					1
	2 定例化した行事の検証と再構築	① 定例化した行事の検証と再構築	1		1					1
計			18	0	9	4	5	0	0	18

組織名称	学 園 本 部
------	---------

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価							
				S	A	B	C	D	E	計	
I 「経営力」の強化	1 定量的目標に基づく財政基盤の確立	① 事業活動収支計画の策定と実行	2	2							2
		② 適確な予算編成と厳格な予算執行	1	1							1
		③ 教育活動収入価格設定の検証と時宜改訂	3		3						3
		④ 外部資金増加策の検討と推進	1					1			1
	2 ICT環境整備による事務の効率化	① ネットシステム構築による事務処理の合理化	0								0
		② 学納金・寄付金納付サポートシステムの構築と稼働	1					1			1
		③ web出願システムの導入	1	1							1
	3 本部コンサルティング機能の充実	① 国際化推進体制の整備	3				3				3
		② 募集戦略の活性化	3		3						3
		③ 広報体制の強化	3			2	1				3
④ キャンパス・アメニティ向上への取り組み		3		3						3	
⑤ IRの有効活用		1			1					1	
⑥ 学納金・寄付金納付サポートシステムの構築と稼働		1								1	
II 「組織力」の増強	1 人事制度の見直し	① コース別人事制度の導入	1					1		1	
		② キャリアパス導入による基準・条件を明確化	3					3		3	
		③ 育成目標を明確にした計画的な人事異動の実施	1					1		1	
		④ 有能なOB・OGの再雇用制度の構築	1				1			1	
		⑤ ワークライフバランスの実現	3	3							3
	2 人材育成システムの構築	① 計画的な研修制度の確立	1					1		1	
		② 資格取得時報奨金・自己啓発手当制度の導入	1					1		1	
	3 ICT環境整備による意思決定・合意形成システムの構築	① 学園ネットワークによる通達・事務連絡システムの構築と稼働	1		1						1
		② ネット決裁システムの構築と稼働	1			1					1
	4 コンプライアンス意識の向上とリスク管理体制の強化	① コンプライアンス意識の更なる醸成	1		1						1
		② リスク管理体制の構築と強化	3			1		2			3
	III 「連携力」の構築	1 企業・行政・地域社会との連携強化	① 地域創生への貢献	1				1			1
2 卒業生・保護者との連携強化		① 同窓会・後援会との連携強化	1				1			1	
3 本部・設置校間の連携強化		① 本部・設置校間の連携強化サポート	3		2	1				3	
4 他校との連携強化		① 高大連携協定の締結促進	0								0
	② 国内外日本語学校との協定支援	1						1		1	
IV 「環境力」の充実	1 教育施設の充実	① 学園施設設備投資計画の策定	3		3					3	
		② 施設マネジメント体制の構築	2			2				2	
		③ エコキャンパス・バリアフリー・耐震補強改修事業の推進	3		3					3	
	2 ICT活用による学生支援システムの構築	① ポータルサイトを活用した学生向け情報揭示システムの導入	1		1					1	
V 「改革力」の創出	1 新規事業による収益事業の創出	① 法人設立による外部流出コストの内生化	2						2	2	
		② 学園オリジナルグッズ展開による認知度向上	1			1				1	
		③ 所有資産を活用した収益事業の創出	1					1		1	
	2 大学・短大の学部・学科の改組・新設の検討	① 地域社会に対応した学部・学科の創設検討	3				3			3	
		② 通信教育部門の創設検討	1				1			1	
		③ 生涯学習センターを活用した生涯教育の充実	1		1					1	
	3 幼保連携の検討継続	① 幼・保施策の情報収集	2						2	2	
	計			65	7	21	9	11	12	5	65

V 財務の概要

1. 令和2年度決算の概要

事業活動収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、定量的経営判断指標について、当期の財務概況を前年度決算額と対比し、主な増減について説明する。

【事業活動収支計算書】

経常収支差額は修学支援に伴う補助金増等により 327,058 千円(前年比+63,193 千円)、経常収支差額比率は 9.0% (前年比+1.5P) となった。

収入及び支出の科目詳細については、下記のとおりである。

(教育活動収支)

〔収入〕 学生生徒等納付金は、短大の学生数が 61 名減少の一方で、大学の学生数が 120 名増加等により +66,328 千円、寄付金は大学 40 周年記念事業終了により △11,946 千円、経常費補助金は、特別補助（ブランディング事業、授業料減免事業等支援事業）及び一般補助（大学の定員超過）の減額等により 95,197 千円の減少となったが、一方で修学支援新制度の授業料等減免費補助金 204,383 千円（大学 132,875 千円、短大 71,508 千円）等により +72,060 千円となった。付随事業収入は補助活動事業収入（寮費）の減少等により △12,561 千円、雑収入は退職金財団交付金の減少等により △32,697 千円となった。

この結果、教育活動収入の合計は +78,606 千円で 3,608,941 千円となった。

〔支出〕 人件費は退職金及び退職給与引当金繰入額の減少等により △47,119 千円、教育研究経費は修学支援に伴う奨学費 204,383 千円増となった一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う経費の未執行等により +89,774 千円、管理経費は新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う経費の未執行等により △26,397 千円となった。

この結果、教育活動支出の合計は +17,997 千円で 3,292,963 千円となった。

これらの結果、教育活動収支差額は +60,609 千円で 315,978 千円となった。

(教育活動外収支)

教育活動外収支差額は、有価証券の利息配当金増等により +2,584 千円で 11,080 千円となった。

(経常収支差額)

経常収支差額は、+63,193 千円で 327,058 千円となった。

(特別収支)

特別収支差額は、有価証券売却差額 等により、+31,310 千円となった。

(基本金組入前当年度収支差額)

事業活動収入は +140,907 千円で 3,691,942 千円、事業活動支出は +46,404 千円で 3,406,315 千円、基本金組入前当年度収支差額は +94,503 千円で 285,627 千円となった。

事業活動収支の財務比率に関しては、経常収支差額比率 9.0% (+1.5P)、事業活動収支差額比率 7.7% (+2.3P)、人件費比率 55.6% (△2.6P)、教育研究経費比率 29.4% (+1.9P)、管理経費比率 5.8% (△0.8P) で、定量的経営判断指標は A 3 となった。

【資金収支計算書】※事業活動収支と重複する内容の科目説明は割愛。

(収入の部) 資産売却収入は、株式相場の回復を受け、反復運用の売買により、+1,346,661千円となった。

借入金等収入は、大学40周年記念館建設の着手金として78,100千円を短期で借入し、期末に返済した。前受金収入は前期納付書一部前倒し発送等により+43,137千円、その他収入は前期末未収入金及び預り金収入の増加等により+23,034千円となった。

この結果、収入の部合計は+1,629,191千円で6,895,560千円となった。

(支出の部) 人件費支出は退職金支出の減少等により△74,746千円、施設・設備関係支出は大学40周年記念館及びカフェテリア増築の建設着工等により+110,426千円、資産運用支出は、有価証券の売買を反復運用したことにより+804,358千円、その他の支出は前期末未払金支払支出の増加及び前払金支出の減少等により△3,936千円となった。

これらの結果、翌年度繰越支払資金は+582,247千円で2,348,187千円となった。

【貸借対照表】

固定資産は大学40周年記念館とカフェテリア増築の建設着工、及び旧体育館除却等により△169,141千円、流動資産は有価証券の売却や前受金の増加等により+367,625千円となった。この結果、資産の部合計は+198,484千円で16,709,567千円となった。

負債の部合計は、借入金の返済や未払金の減少等により△87,143千円で1,629,620千円となった。基本金は、今年度取得した施設設備の第1号基本金組入により+91,854千円で18,570,574千円となった。

学園の財産状況については、純資産が+285,627千円で15,079,947千円となった。

貸借対照表の財務比率に関しては、純資産構成比率90.2% (+0.6P)、流動比率397.6% (+69.6P)、前受金保有率646.3% (+28.9P)、積立率44.3% (+5.1P)となった。

【経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策】

第3次経営計画(志學館学園未来計画2016-2021)の目標を着実に取り組んできた結果、学園の経営状況については、令和2年度は定量的経営判断指標(P.32参照)においてA3の正常状態で、全国平均値を上回る収入超過の財務を維持している。

平成28年度と比較すると、令和2年度の短大学生数は295名減少したが、一方で大学は298名増加した。短大については、学生定員の見直しにより定員変更を行い、令和3年度の補助金は定員充足率の向上により改善する見込ではあるが、収支のバランスを保つためには、募集広報活動の強化による学納金収入の向上はもとより、採択制の補助金、寄付金、事業収入など、更なる収入増加方策を図る必要がある。また、経費の見直しに伴う支出の削減と効率化は、今後も継続的に努めなければならない。

更に今後、施設設備の拡充を継続的に実行する為には、資金の流動性を確保しながら積立ての強化を図り、経常収支差額10%以上を達成することが命題である。

来期から新たに始まる第4次経営計画を見据えて、学生・生徒・園児の確保を第一に、長期的な視野で安定した財務運営を目指す方針である。

① 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

単位：千円

		勘定科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常収支	教育活動収入	学生生徒等納付金	2,446,020	2,440,609	2,397,134	2,420,988	2,487,316
		手数料	36,811	35,412	36,121	37,590	35,012
		寄付金	9,295	44,209	2,285	18,423	6,477
		経常費補助金	938,688	931,912	924,522	805,682	877,742
		付随事業収入	138,443	131,708	122,482	116,435	103,874
		雑収入	173,147	234,153	128,402	131,217	98,520
		収入計 ①	3,742,404	3,818,003	3,610,946	3,530,335	3,608,941
	教育活動支出	人件費	2,133,263	2,167,253	2,043,858	2,061,328	2,014,209
		教育研究経費	971,666	995,963	972,004	974,434	1,064,208
		管理経費	256,475	252,892	236,019	234,936	208,539
		徴収不能等	3,652	7,055	1,913	4,268	6,007
		支出計 ②	3,365,056	3,423,163	3,253,794	3,274,966	3,292,963
	教育活動収支差額 ①-②		377,348	394,840	357,152	255,369	315,978
	外収入	受取利息・配当金	8,123	1,520	2,519	4,411	6,448
		収益事業収入	7,163	8,781	8,945	5,813	5,958
		収入計 ③	15,286	10,301	11,464	10,224	12,406
	外支出	借入金等利息	5,013	3,780	2,494	1,728	1,326
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		支出計 ④	5,013	3,780	2,494	1,728	1,326
	教育活動外収支差額 ③-④		10,273	6,521	8,970	8,496	11,080
経常収支差額		387,621	401,361	366,122	263,865	327,058	

特別収支	特別収入	資産売却差額	26,193	9,135	19,775	0	52,764
		現物寄付	3,469	4,366	2,934	2,523	3,250
		施設設備補助金	23,131	4,948	22,227	7,448	14,581
		過年度修正額	752	0	0	505	0
		収入計 ⑤	53,545	18,449	44,936	10,476	70,595
	特別支出	資産処分差額	31,690	378,998	31,424	78,919	83,668
		過年度修正額	11,579	0	2,730	4,298	28,358
		支出計 ⑥	43,269	378,998	34,154	83,217	112,026
	特別収支差額 ⑤-⑥		10,276	△ 360,549	10,782	△ 72,741	△ 41,431

経常収入 計	3,757,690	3,828,304	3,622,410	3,540,559	3,621,347
経常支出 計	3,370,069	3,426,943	3,256,288	3,276,694	3,294,289
事業活動収入 計	3,811,235	3,846,753	3,667,346	3,551,035	3,691,942
事業活動支出 計	3,413,338	3,805,941	3,290,442	3,359,911	3,406,315

基本金組入前当年度収支差額	397,897	40,812	376,904	191,124	285,627
---------------	---------	--------	---------	---------	---------

イ) 財務比率の経年比較

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常収支差額比率	10.3%	10.5%	10.1%	7.5%	9.0%
事業活動収支差額比率	10.4%	1.1%	10.3%	5.4%	7.7%
人件費比率	56.8%	56.6%	56.4%	58.2%	55.6%
教育研究経費比率	25.9%	26.0%	26.8%	27.5%	29.4%
管理経費比率	6.8%	6.6%	6.5%	6.6%	5.8%

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

単位：千円

勘定科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学生生徒等納付金収入	2,446,020	2,440,609	2,397,134	2,420,988	2,487,316
手数料収入	36,811	35,412	36,121	37,590	35,012
寄付金収入	9,295	44,209	2,285	18,423	6,478
補助金収入	961,819	936,860	946,749	813,130	892,323
資産売却収入	234,256	322,787	569,544	0	1,346,661
付随事業・収益事業収入	145,605	140,489	131,427	121,089	108,368
受取利息・配当金収入	8,124	1,520	2,519	4,410	6,448
雑収入	174,439	234,153	128,402	131,217	98,520
借入金等収入	0	0	0	0	78,100
前受金収入	432,446	412,532	395,611	375,165	418,302
その他の収入	598,302	298,471	254,047	138,089	161,123
資金収入調整勘定	△ 621,847	△ 690,462	△ 552,906	△ 552,330	△ 509,031
前年度繰越支払資金	808,111	1,140,954	1,258,423	1,758,598	1,765,940
収入の部 合計	5,233,381	5,317,534	5,569,356	5,266,369	6,895,560
人件費支出	2,148,579	2,194,983	2,047,661	2,093,587	2,018,841
教育研究経費支出	644,301	662,961	630,131	640,663	757,560
管理経費支出	205,643	197,404	189,134	186,859	152,407
借入金等利息支出	5,013	3,780	2,494	1,728	1,326
借入金等返済支出	180,000	180,000	180,000	70,000	148,100
施設関係支出	471,268	470,069	161,126	75,411	200,625
設備関係支出	140,085	111,003	140,158	116,528	101,740
資産運用支出	253,055	299,523	299,871	294,553	1,098,911
その他の支出	288,426	245,686	338,687	238,876	234,940
資金支出調整勘定	△ 243,943	△ 306,298	△ 178,504	△ 217,776	△ 167,077
翌年度繰越支払資金	1,140,954	1,258,423	1,758,598	1,765,940	2,348,187
支出の部 合計	5,233,381	5,317,534	5,569,356	5,266,369	6,895,560

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

単位：千円

	科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育活動による資金収支	教育活動資金収入計	3,742,944	3,818,003	3,610,946	3,529,176	3,607,478
	教育活動資金支出計	2,995,944	3,055,349	2,864,196	2,916,876	2,928,808
	差引	747,001	762,654	746,750	612,300	678,670
	調整勘定等	△ 46,467	△ 17,042	△ 44,872	△ 48,026	15,408
	教育活動資金収支差額	700,533	745,612	701,877	564,274	694,078
	施設整備等活動による資金収支	施設整備等活動資金収入計	223,131	193,358	22,227	7,448
施設整備等活動資金支出計		611,353	581,072	301,284	191,940	302,365
差引		△ 388,222	△ 387,714	△ 279,057	△ 184,492	△ 287,784
調整勘定等		159,108	△ 19,926	△ 19,118	△ 11,798	△ 21,474
施設整備等活動資金収支差額		△ 229,114	△ 407,640	△ 298,175	△ 196,290	△ 309,258
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		471,419	337,971	403,702	367,985	384,820
その他の活動による資金収支	その他の活動資金収入計	302,752	265,133	581,749	12,161	1,447,715
	その他の活動資金支出計	441,318	485,634	485,276	372,803	1,250,288
	差引	△ 138,566	△ 220,502	96,473	△ 360,642	197,427
	調整勘定等	△ 10	0	0	0	0
	その他の活動資金収支差額	△ 138,577	△ 220,502	96,473	△ 360,642	197,427
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		332,843	117,469	500,175	7,343	582,247
前年度繰越支払資金		808,111	1,140,954	1,258,423	1,758,598	1,765,940
翌年度繰越支払資金		1,140,954	1,258,423	1,758,598	1,765,940	2,348,187

ウ) 財務比率の経年比較

教育活動資金収支差額比率	18.7%	19.5%	19.4%	16.0%	19.2%
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

③貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

単位：千円

科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
固定資産	14,954,706	14,588,758	14,470,197	14,200,286	14,031,145
有形固定資産	14,538,600	14,295,113	14,158,746	13,901,140	13,744,505
特定資産	347,749	227,751	227,753	227,754	227,756
その他の固定資産	68,357	65,894	83,698	71,392	58,884
流動資産	1,572,994	1,815,431	1,950,699	2,310,797	2,678,422
資産の部合計	16,527,700	16,404,189	16,420,896	16,511,083	16,709,567

科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
固定負債	1,443,935	1,219,039	1,125,141	1,009,463	954,638
流動負債	898,284	958,858	692,559	707,300	674,982
負債の部合計	2,342,219	2,177,897	1,817,700	1,716,763	1,629,620

科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第1号基本金	17,721,601	17,834,846	18,089,783	18,190,885	18,282,739
第2号基本金	120,000	0	0	0	0
第3号基本金	49,835	49,835	49,835	49,835	49,835
第4号基本金	238,000	238,000	238,000	238,000	238,000
基本金の部合計	18,129,436	18,122,681	18,377,618	18,478,720	18,570,574

科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
翌年度繰越収支差額	△ 3,943,955	△ 3,896,389	△ 3,774,422	△ 3,684,400	△ 3,490,627

科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
純資産の部合計	14,185,481	14,226,292	14,603,196	14,794,320	15,079,947

負債及び純資産の部合計	16,527,700	16,404,189	16,420,896	16,511,083	16,709,567
-------------	------------	------------	------------	------------	------------

イ) 財務比率の経年比較

財務比率	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
純資産構成比率	85.8%	86.7%	88.9%	89.6%	90.2%
流動比率	175.1%	189.3%	281.7%	328.0%	397.6%
前受金保有率	396.9%	427.6%	509.2%	617.4%	646.3%
積立率	29.4%	32.1%	35.6%	39.2%	44.3%

※前受金保有率は、修正前前受金保有率（運用資産／前受金）を適用。

2. その他

単位：円

① 有価証券の状況

有価証券の種類	簿価	時価	差異
債券	99,562,500	94,656,250	△4,906,250
株式	27,926,495	23,750,000	△4,176,495
合計	127,488,995	118,406,250	△9,082,745

② 借入金の状況

借入先	期末残高	利率	返済期限
鹿児島銀行	125,000,000	0.85%	令和8年3月30日

③ 寄付金の状況

寄付金の種類	寄付金額
一般寄付金	2,131,500
特別寄付金	1,506,400
コロナ対策寄付金	2,839,580
現物寄付金	3,250,365
合計	9,727,845

④ 補助金の状況

補助金種別	補助金額
国庫補助金	483,797,500
(内、経常費補助金)	(279,414,000)
(内、修学支援交付金)	(204,383,500)
県補助金	359,943,350
市補助金	34,000,924
施設設備補助金	14,581,000
合計	892,322,774

⑤ 収益事業

売上高	13,794,214
売上原価	1,196,840
販売管理費	10,986,737
(内、学校会計繰入額)	(5,958,122)
法人税	801,600
当期純利益	809,080

3. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分

令和2(2020)年度

志學館学園 経営判断指標判定表

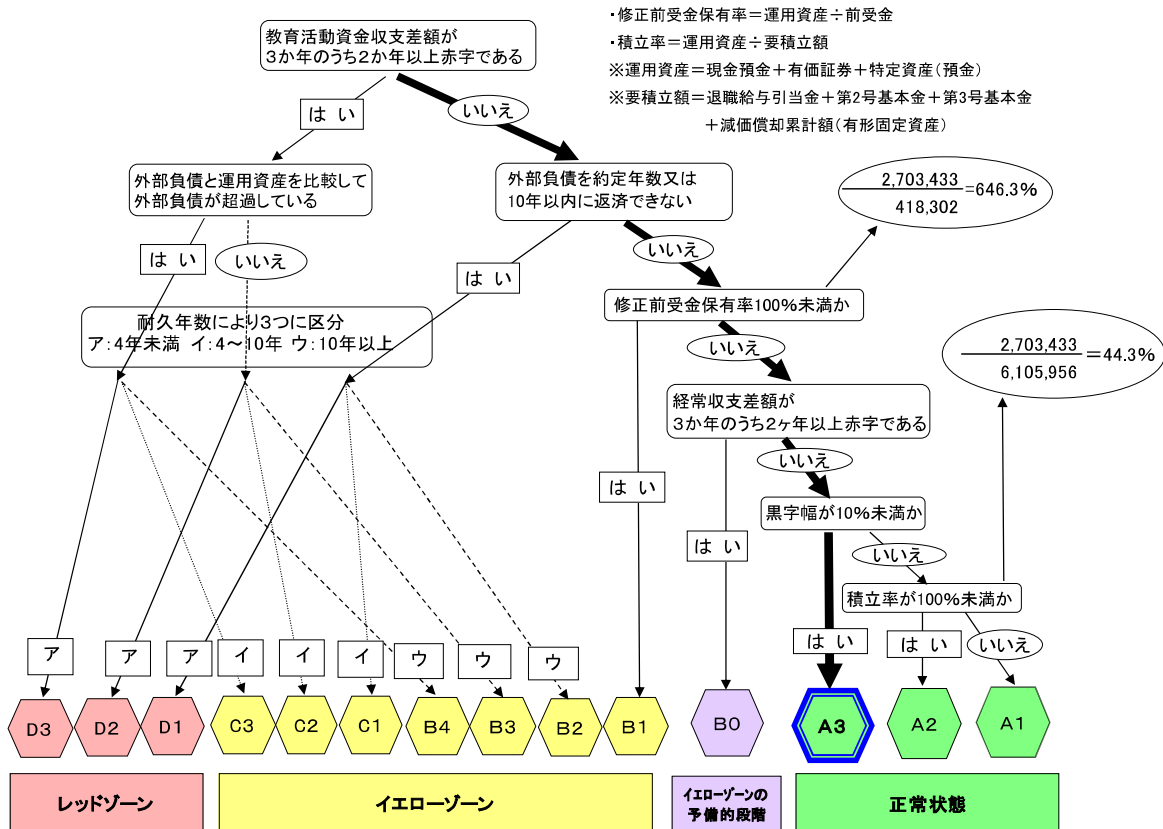
判定		A2	A2	A2	A3	A3
I 教育活動資金収支差額		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	教育活動資金収入(A)	3,742,944	3,818,003	3,610,945	3,529,176	3,607,478
	教育活動資金支出(B)	3,042,411	3,072,391	2,909,068	2,964,902	2,913,400
	C=A-B	700,533	745,612	701,877	564,274	694,078
	教育活動資金収支差額比率C/A	18.7%	19.5%	19.4%	16.0%	19.2%
判定		○	○	○	○	○
II 運用資産と外部負債の関係		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	運用資産(D)	1,716,544	1,764,000	2,014,277	2,316,172	2,703,433
	外部負債(E)	1,003,372	886,240	546,198	496,030	360,235
	F=D-E	713,172	877,760	1,468,079	1,820,142	2,343,198
	C>0且つF<0の時 F÷C(単位:年)	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***
III 経常収支差額		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	経常収入(G)	3,757,690	3,828,304	3,622,410	3,540,559	3,621,347
	経常収支差額(H)	387,621	401,361	366,122	263,865	327,058
	経常収支差額比率(H/G)	10.3%	10.5%	10.1%	7.5%	9.0%
	判定		○	○	○	○

注1) 定量的な経営判断指標は平成24年度に精緻化され、7区分から14区分へ変更になった。

注2) 新会計基準に基づき、平成27年度より下記の2点の変更となった。

【変更点】①(旧)教育研究活動CF ⇒ (新)教育活動資金収支差額

②帰属収支差額(資産売却差額、資産処分差額を除く) ⇒ 経常収支差額



◆ 学校法人会計 及び 用語について (解説) ◆

学校法人会計は、その事業目的において公共性が高く、企業の様に営利を追求するものではないため、企業会計とは異なる学校法人会計という会計形態をとっており、学校法人の収入は極めて制約的で、増加を図ることが難しい財政構造となっている。学校法人が事業の持続性と財政の健全性を維持していくためには、長期的な視野に立った事業計画と、それを裏付ける収支均衡の取れた財政計画が必要となる。学校法人はそれを踏まえ予算に基づいた運営をしなければならず、予算と決算の差異が重視される計算書様式となっており、学校が持続性を確保するための収支均衡状態を目指すのに適した会計制度となっている。

【資金収支計算書】

・当該会計年度（4月1日～3月31日）に行った諸活動に対する全ての収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現金預金等）の顛末を明らかにするものである。

資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に近いもので、前年度から繰り越された支払資金を基に、当年度の収支の結果、翌年度に繰り越される支払資金が確定する計算体系になっている。

【事業活動収支計算書】

・当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容と均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表す（収支バランスを捉える）ものである。資金の増減を伴わない取引（引当金、減価償却費等）は計上されるが、資本的支出（固定資産取得等）に充てる額は除いて計上する。本業である「教育活動収支」、本業外である「教育活動外収支」、臨時的な「特別収支」の3区分で収支の状況を把握し、分析することができる。

【貸借対照表】

・当該年度末（3月31日）時点での資産・負債・基本金の状況を表し、財政状況を明らかにするものである。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支状況を表す一方、貸借対照表はこれまでの財政活動における積み重ね（累積）の結果を表示する。

【経常収支差額】

・臨時的な特別収支を除く、経常的な収支バランスを表すもの。経常収支差額比率は、学校経営における利益の判断基準である。

【基本金】


- ・学校法人の機能を維持し、安定的かつ持続的に経営することを目指すために組み入れる。
- 第1号基本金・・・校地、校舎、機器備品、図書等の自己資金による固定資産の取得価額
- 第2号基本金・・・将来の固定資産取得に充てる為の施設設備投資額（計画的に組み入れる）
- 第3号基本金・・・基金として継続的に保持・運用する金額（本学園は奨学金基金）
- 第4号基本金・・・恒常的な支払資金に対応する運転資金額（文部科学大臣の定める額）


監 査 報 告 書

令和3年5月21日

学校法人志學館学園
理 事 会 御 中

学校法人 志學館学園

監 事 大 津 学 

監 事 久 永 修 平 

私たちは、私立学校法第37条第3項に基づく監査報告を行うため、学校法人志學館学園の寄附行為第15条の規定に従い、学校法人志學館学園の令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上